

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：羽幌地域生物多様性保全協議会

活動地域：北海道羽幌町および

海鳥の生息する周辺地域

活動におけるテーマ・キャッチコピー

羽幌シーバードフレンドリー認証制度を核にした
生物多様性保全による地域循環共生圏づくり



活動団体紹介

- 羽幌地域生物多様性保全協議会は、
2017年に羽幌**シーバードフレンドリー(以下、SBF)**認証制度を立ち上げ、
「**海鳥をとりまく自然環境の保全**」と「**地域産業の振興**」の両立を目指しています
- 2021年6月現在、4つの団体を認証しています
羽幌シーバードフレンドリー推進協議会HP：<http://www.seabird-center.jp/sbf/index.html>



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

羽幌町を含む道北エリアにおいて、「海鳥を取り巻く自然環境の保全」と「地域産業の振興」がつながり、関係人口の増加やその利益が自然環境の保全に還元される持続可能な地域となっている

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

人口減少、地域産業の低迷、海鳥をとりまく自然環境の保全、住民の環境意識の希薄さ、基礎自治体単位での産業の脆弱さ

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

SBF認証制度

人と海鳥が共生する世界的にも希少な海鳥の生息環境、特徴的な自然環境を有する天売島・焼尻島、羽幌町域では混獲防止網の洋上実験を行うなど環境に配慮した漁業と減農薬による特別栽培米

町外広域では苫前町のFIP水ダコ漁や利尻島うみねこんぶなどの環境に配慮した産業

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

SBF認証の拡張

（賛同・認証団体の増加定着にむけた地域内での対話等、働きかけ／マーケティング調査等に基づいた制度リフォームの検討／マーケティングの実践）
環境教育による広域連携

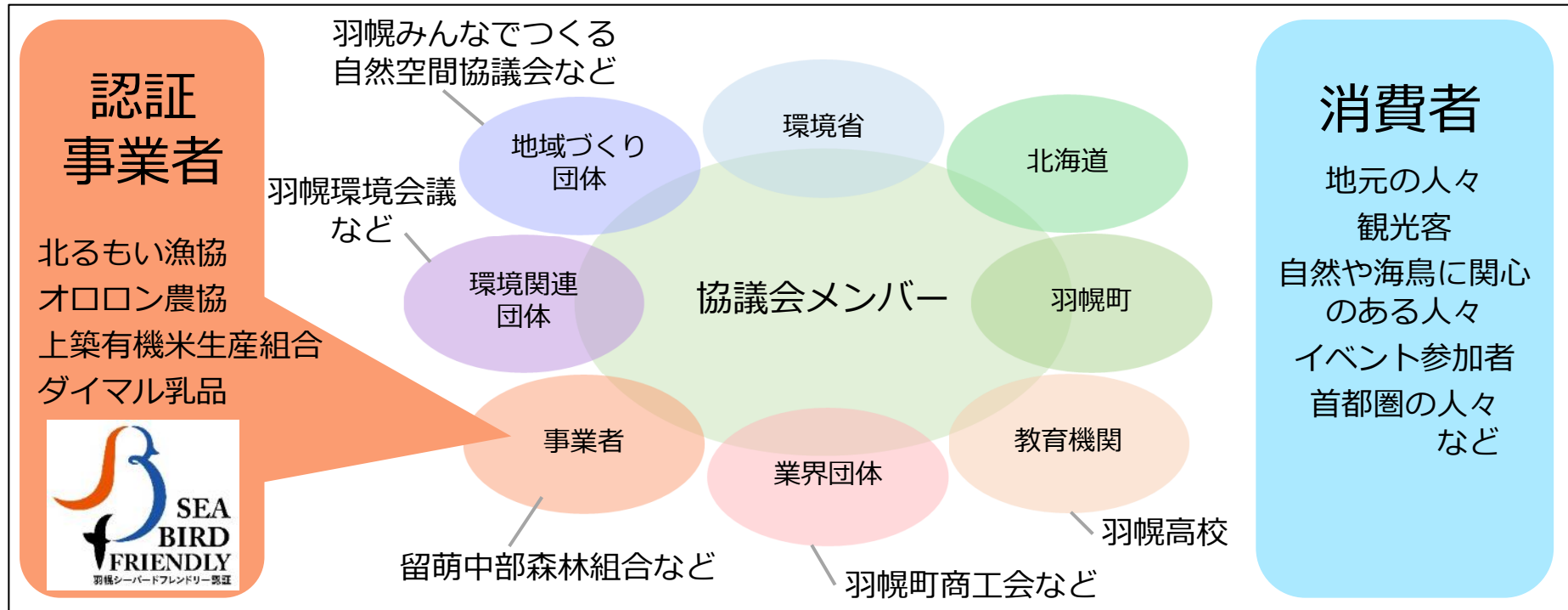
成果（取組によって出したい成果）

SBF認証による関係人口・応援人口の増加

SBF認証による地域全体での経済的・社会的メリットの創生

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- 認証事業者の拡大
- 協議会を発展させた広域化とSBF賛同者のネットワークづくり
- SBF認証制度をPRする消費者の対象を絞り込む

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ←→協定締結（活動予算執行開始）				現地意見交換会		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限			◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出
対象エリアの拡大 および 広域ネットワーク の形成			検討競技 ・SBF認証賛同者をさがす ・マーケティング勉強会		広域ネットワークのワークショップ開催		天売島・焼尻島との連携					
広報・PR					◆PRイベント参加①			◆PRイベント参加②	雑誌への記事掲載 ◆SBFウェブサイト製作			
マーケティング および ブランディング				◆先進地域調査 ・オンライン相談会等				◆先進地域視察				